

日本の近未来エネルギー状況を刷新する

地熱発電の可能性

—その現状と展望について—



アイスランドのブルーラグーン

むら おか ひろ ふみ

村岡洋文氏 講演会

弘前大学 特別顧問、弘前大学地域戦略研究所 客員研究員、
元国立大学法人弘前大学 北日本新エネルギー研究所所長、
理学博士(広島大学)、IEA地熱実施協定日本代表、日本地熱学会評議員

日時: 2018 **12/14** [FRI]

会場: 大阪市中之島中央公会堂 地下大会議室

入 場 無 料 ・ 先 着 8 0 名

主催: 一般社団法人 日本建築設計学会

協力: 神戸大学大学院遠藤秀平研究室

オーガナイザー: 遠藤秀平 (建築家・神戸大学教授)



ARCHITECTURAL DESIGN
ASSOCIATION OF NIPPON

村岡洋文氏 講演会

「日本の近未来エネルギー状況を刷新する 地熱発電の可能性 —その現状と展望について—」

日本は火山国でもあり潜在的地熱資源量においては世界3位です。

また、地熱発電技術は世界的にトップレベルにあります。

しかし、これまで地熱発電の利用割合は日本全体の発電量の2%ほどでしかなく、全く利用されていないにも等しい状況でした。

しかし、2011年の福島第一原子力発電所事故により、持続可能な再生エネルギーの利用促進が叫ばれています。

そして、今後の地熱発電がどのような近未来を迎えようとしているのか。

この講演会では世界の動向、そして日本の地熱発電の実態に詳しい村岡洋文先生を招き、今後の日本における地熱発電の未来像を探る企画です。

我が国のエネルギー問題に関心にある方々に広く来ていただきたいと考え企画しました。



ブルーラグーン発電所



八丁原発電所(大分県)

オーガナイザー

日時: 2018 **12/14** [FRI]

会場: 大阪市中之島中央公会堂 地下大会議室

入 場 無 料 ・ 先 着 8 0 名



遠藤 秀平(えんどう しゅうへい)
建築家・神戸大学教授

1960年 滋賀県生まれ
1986年 京都市立芸術大学大学院修了
1988年 遠藤秀平建築研究所設立
2004年 ザルツブルグサマーアカ
デミー教授
2007年 神戸大学大学院教授
2012年 東北(藩陽)大学客員教授
2013年 天津大学客員教授



〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27

大阪市中之島中央公会堂地下大会議室(定員80名)

Open: 2018年12月14日(金) 18:00~19:30

大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋」駅下車1番出口から徒歩約5分

京阪電鉄「淀屋橋」駅下車1番出口から徒歩約5分

京阪電鉄「なにわ橋」駅下車1番出口から徒歩約1分

連絡先: 日本建築設計学会事務局

松下秀嗣

office@adan.or.jp

www.adan.or.jp



ARCHITECTURAL DESIGN
ASSOCIATION OF NIPPON